

CHIBA

東日本ユニオン千葉地方本部

発行者: 末永 健

編集者: 情 宣 部

2024年度年末手当交渉も いよいよ大詰め!

**私たち社員の「本音」に
経営側は耳を傾けろ!**



●業績は好調を維持!

- ・第2四半期決算では営業利益対前年 126%!
- ・9月の鉄道運輸収入は対前年 110%!
- ・営業収益はコロナ前の水準まで回復している!

●仕事の質・量は増加!

- ・融合と連携により、今までの仕事に比べ、責任・質・量すべてが増えている!
- ・要員不足による休日勤務、勤務変更なども多数発生! 今まで以上に社員の心身負担は激増している!
- ・「柔軟な働き方」という魔法のコトバで、何でもやらされている! 超勤すら付かない!

●モチベーションUPのためにも「満額回答」を!

- ・コロナ時は赤字経営だからと手当は大きく下げられた。コロナ前に戻ってきているなら、手当だって戻すのが社員の幸せに繋がるのではないかな!
- ・やることばかり上司に言われ、それに見合った手当がここ数年ついてきていないのが現実!
- ・このままの手当水準だとモチベーションすら維持できない。社員のやる気を出すためにも、今回は満額回答である3.8ヶ月は必要だ!

●「値上げの嵐」で生活も苦しい!

- ・異常気象もあって、食材の値段が今年の比ではない! 毎月のように値上がりしている。それに比べ収入は上がっていない。いくら働いても今の生活水準を維持するのは厳しい!
- ・とにかく、買い物をするたびに物価上昇を身に染みて感じる。安いからと菓子パンばかり食べていたら健康診断で指摘される。社員の健康維持のためにも、バランス良い食事を摂れるだけの手当は必要!
- ・これから冬になると、光熱費が心配。その蓄えのためにも年末手当は昨年以上出してもらわないと!

●本音のホンネは...

- ・とにかく「出し渋り」は許せません! 儲かっている時には社員に手厚く還元して欲しい!
- ・「この会社はケチだから」と働いている社員が思っている企業に未来はないと思います。有能な若手は早めに見切りをつけて転職しています。人材流出阻止のためにも、この会社の未来のためにも、出すべきものはしっかり社員に出すのが筋だと思います!
- ・夏のボーナスが少なかったのが悪い。その分、冬に乘せてよ! って話。だって儲かってるんでしょ!